

## 日本獣医生命科学大学 附属ワイルドライフ・ミュージアム 2019 年度歴史系展示室企画展の記録

### (1) 基本情報

#### 【企画展名】

2019 年度歴史系展示室企画展「麻布区役所と日獣大～ 110 年間の歩み～」

#### 【会期】

2019 年(令和元年) 11 月 1 日から 2020 年(令和 2 年) 2 月 28 日

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会期を予定より短縮した

#### 【会場】

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム 歴史系展示室

#### 【主催】

日本獣医生命科学大学附属ワイルドライフ・ミュージアム

#### 【企画立案・展示制作】

石井奈穂美(学芸員)

### (2) 趣旨

博物館の展示室が設置されている本学一号棟(本館)の歴史は、1909 年(明治 42 年)まで遡ることが出来る。この年の 6 月、東京市麻布区<sup>あざぶいちべえちよう</sup>麻布市兵衛町(現 東京都港区六本木 3 丁目)において、木造 2 階建ての麻布区役所庁舎が竣工した。この庁舎は 1923 年(大正 12 年)の関東大震災を乗り越えたものの、1935 年(昭和 10 年)に新たに建てられたコンクリート造の庁舎での業務が始まると、役目を終えて使われなくなった。このころ、本学の前身校である私立日本獣医学校は、当時校舎のあった目黒村(現 目黒区)から武蔵野町(現 武蔵野市)への移転を決断し、現在の校地において校舎の建築を開始した。このとき、使われなくなっていた麻布区役所庁舎を学校校舎として活用するために移築したものが現在の一号棟である。

区役所庁舎を学校校舎として活用するにあたり、改装・改築が行われているものの、都内に現存する唯一の明治期の役所建築である一号棟は、歴史的価値を持つ貴重な建造物であると言える。2019 年(令和元年)は、麻布区役所庁舎の竣工から 110 年目となる記念すべき年であることから、これまでの一号棟の歴史を振り返る企画展を開催した。

※企画展会期中の 2019 年(令和元年) 11 月 15 日に、国の文化審議会文化財分科会において、一号棟を登録有形文化財(建造物)に登録するよう、文部科学大臣に答申された。2020 年(令和 2 年)4 月 3 日には、「旧東京市麻布区役所庁舎(日本獣医生命科学大学一号棟)」の名称で、国の登録有形文化財(建造物)として正式に認められた。

### (3) 展示構成

#### 【麻布区役所庁舎の 26 年間】

麻布区役所庁舎が竣工してからその役目を終えるまでの 26 年間にわたる歴史をまとめた。

#### 【一号棟の 81 年間】

麻布区役所庁舎が本学校舎として移築され、現在に至るまでの 81 年間にわたる歴史をまとめた。



麻布区役所庁舎の 26 年間



一号棟の 81 年間

### (4) 展示資料の概要

解説パネル：8 点      展示資料：3 点

一号棟の麻布区役所庁舎としての 26 年間と学校校舎としての 81 年間のそれぞれの歴史を、解説パネルと年表にまとめた。また、一号棟の屋根裏から新たに発見された棟札を、画像とともに紹介した。

### (5) 関連イベント

該当なし